

BANDO



坂東の今がわかる!

「茨城ごじゃっぺカルテット」
© 豚もう／小学館

写真：県指定有形文化財
國王神社拝殿

ばんどう政策特集2026

「地域のランドマーク」に 旧猿島庁舎跡地に複合施設整備



旧猿島庁舎跡地において、地域複合施設の整備を計画しています。施設には、さしま窓口センター、教育支援センターのほか、屋内遊戯室や大屋根のある全天候型広場、市民交流スペースなどを備え、子どもたちが元気に駆け回ることができる屋外広場の整備も検討しています。

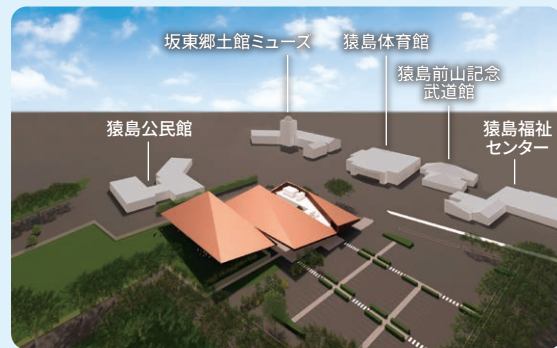
整備にあたっては、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを取り入れながら、周辺公共施設を結ぶ役割を果たす、地域のランドマークとなる施設を目指しています。今年度は施設の実施設計を進め、来年度以降、施設本体、外構などの工事に着手する予定です。

子育ての安全・安心に

屋内や屋根のある遊び場は少なく、県外まで行くことが多いです。特に夏になると熱中症などを考えて、日の当たらない遊び場を探しています。地域複合施設に屋内遊戯室や、大屋根のある全天候型広場ができることは、大変うれしいことであり、子どもを見守る面においても大変助かります。子どもたちの安全・安心が確保された遊び場が、早くできることを願っています。



吉村さん親子



地域複合施設イメージ図

※基本設計段階のため、今後の検討の中で変更となる可能性があります。

県内初、
圏央道初
だよ～



猿島ノブエ

さらなる賑わいを生む

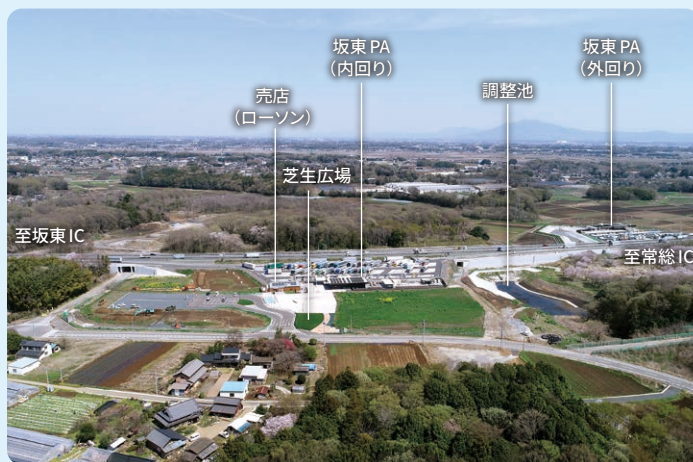
ハイウェイ・オアシス整備進む



市では、坂東PAハイウェイ・オアシスの整備を進めています。今年度の整備状況については、公園東側の調整池整備工事を進めていくほか、坂東PAハイウェイ・オアシスを中心とした、坂東インターチェンジ周辺地区の都市マーケティング調査を行います。

民間事業者の創意工夫や幅広い提案を活用する官民連携事業の活用を視野に入れ、段階的な整備の検討を引き続き行っていきます。

さらなる賑わいの創出に向け、地域の中心となる活性化拠点を目指した整備を、今後も続けていきます。



坂東PAハイウェイ・オアシスのようす（令和8年4月時点）

公園完成、望む声多く

日々お客様が増えているように感じます。坂東市の代表的な施設となるため、開店当時は身が引き締まる思いでした。現在では、店外のフォトスポットで嬉しそうに撮影される方や、市のポスターやパンフレットを見る方も多く、店内お土産コーナーの市特産品は、大変好評です。

また、公園の完成を待ち望んでいる声を多く聞きます。コンビニエンスストアの営業を通して、坂東市の方々の憩いの場として、多くの方に利用いただけるよう努めていきたいと考えています。



ローソン坂東PA
ハイウェイオアシス店
オーナー
佐々木さん

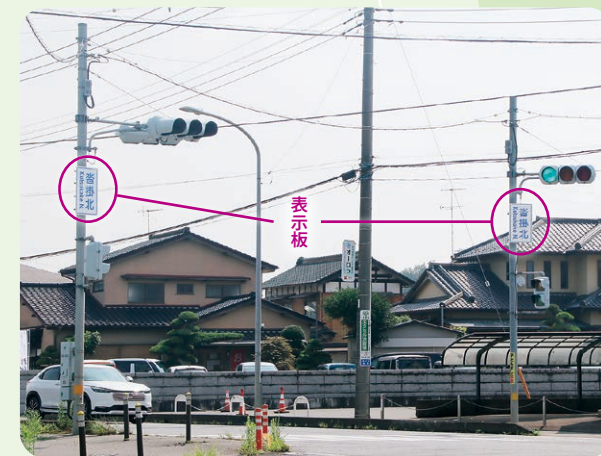
名前1つで大きな効果 交差点名表示板の設置

市では、市内の交差点に交差点名表示板（以下、表示板）の設置を進めています。平成30年度から設置を進め、令和7年度では、129か所の交差点で設置が完了しています。表示板を設置することで、どこの交差点なのか、表示板を見て分かるようになっています。

表示板は、主に交通信号機に設置しており、運転者や歩行者に交差点の名称を伝える役割があります。表示板があることによって、道に迷わないためのルート確認ができるだけでなく、音声案内で交差点名を読み上げることが可能となり、より分かりやすく案内を受けることができるようになります。

また、周辺に建物がなく、交差点しかない地点での事故など、緊急の場合に表示板の名称を伝えることで、緊急車両が迅速に対応できます。

普段何気なく使っていた位置情報サービスでの案内、緊急時の対応など、表示板を設置するだけで大きく変わります。地点を表すだけではなく、市民の皆さんの生活に役立つものとなっています。



設置するだけで
生活の役に立つべ



岩井スズラン



選択できる安全・安心の新しい形 高齢者見守りサービス利用料を助成

市では、5つの事業者と協定を結び、事業者が提供する見守りサービス利用料の一部を助成しています。「坂東市ひとり暮らし高齢者見守りサービス助成金交付事業」は、令和8年度から開始しており、県内では初の取り組みです。

高齢者を取り巻く環境や各家庭のニーズは多様化しています。利用者がご自身にあったサービスを選択でき、それぞれのサービスで助成を受けられることが本制度の強みです。ひとりで過ごす時間に不安を感じる高齢者本人だけでなく、家族にも安心を提供できる、新たな福祉サービスです。

※坂東市ひとり暮らし高齢者「緊急通報システム」、坂東市ひとり暮らし高齢者「愛の定期便」と併用しての利用はできません。

「みんなで見守る」 選択肢、さらに拡大へ

見守りの輪を広げたいという思いで、助成金交付事業を始めました。今後は助成対象をさらに拡充していきたいです。申し込みを検討する際は、家族や身近な方とよく相談をしてほしいと思います。ひとり暮らしの方にとって、話をすることは何よりの安心につながります。サービスがきっかけで、少しでも交流の機会が増えるなら、担当者として、とても嬉しいです。

行政を含めた関係者全員が一体となり、ひとり暮らしの方を見守る体制が必要です。サービスを通して、“みんなで見守る”をもっと広げていきたいです。



介護福祉課
渡辺さん

高齢者見守りサービスを提供する事業者

事業者名	主なサービス内容	利用料
ALSOK 株式会社	押しボタン式の緊急通報装置を設置。緊急時に警備員や消防が自宅に出勤。	月額 3,069 円～ ※オプションにより金額は変動します。
ヤマト運輸株式会社	見守り用電球の点灯状況により、異常を検知。異常発生時に家族や関係者への通知や、配達員の訪問による安否確認。	月額 1,738 円 (税込)
合同会社ネコリコ	センサー機器が人の動きや振動を感知して、異常を検知。異常発生時に家族や関係者に通知。	月額 550 円 (初月無料) ※初期費用は自己負担となります。
東邦薬品株式会社	高齢者の衣類や所持品に二次元コード付きのシールを貼付。緊急時に個人情報を開示することなく、発見者との連絡が可能。	—
特定非営利活動法人 エンリッチ	LINE アプリへの通知の確認状況に基づき異常を検知。異常発生時に家族や関係者に通知。	—

※助成は月額利用料が対象となります。（年間上限1万円まで）
利用料は事業者によって、今後変更となる場合があります。



各種補助金等で ライフイベントを支えます!



就職、結婚、出産など、人生のイベントはさまざまです。市では、市民の皆さんの生活に合わせ、各種制度を設けています。特に、子育て世代定住促進奨励金は、令和8年度から市内に住んでいる方へ対象を拡大しました。住みたいと思えるまちへ、未来につなぐ支援を補助金・奨励金などで行っています。

＼市内に住む方へ対象拡大／

子育て世代定住促進奨励金

戸建ての住宅を取得した子育て世代の方(20～40歳または15歳以下の子がいる方)を対象に、最大50万円の奨励金を支給します。令和8年度から、移住者のほか、市内に住む方へ対象を拡大しました。

＼誕生のお祝いに／

新生児応援給付金

市独自の新生児応援給付金を支給しています。誕生したお子さま1人につき5万円です。妊婦支援給付金(妊婦届出時に5万円、出産後に5万円)の支給分を合わせると、計15万円となります。

＼奨学金返還を市が支援／

奨学金返還支援補助金

医療福祉職奨学金返還支援補助金

働きながら奨学金を返還し始めた方に、返還額の半額(1か月あたり最大2万円)の補助金を支給します。期間は5年間で、最大120万円となります。医療福祉職の方については、さらに金額が上乗せされます(1か月あたり最大4万円)。

利用者の声

市が独自で新生児応援給付金の5万円を支給していることは知りませんでした。子育てはお金がかかることが多く、子どもが生まれた時にまとまった金額を受け取ることができるのは大変うれしいです。特に、物価高騰が続く現在で、5万円の上乗せはとても助かります。こうした生活の支えになる補助をもっと増やして、継続的な支援を続けてほしいと思っています。



＼新生活を応援／

結婚新生活支援補助金

市内で新たに結婚生活を始める方の新居購入費用、リフォーム工事費用、引越費用、家賃等を助成します。

夫婦ともに29歳以下の場合、最大60万円の支給となります。

	子育て世代 定住促進奨励金	新生児応援給付金	奨学金返還支援補助金	医療福祉職奨学金 返還支援補助金	結婚新生活支援補助金
要件	市内で戸建て住宅を取得、20～40歳(または15歳以下の子がいる)など	出生日から申請を行う日まで引き続き坂東市の住民基本台帳に記録されている方	高校・大学等を卒業、無期限雇用で勤務、令和6年4月1日以降に奨学金を返還開始など	医療福祉分野の資格を生かし就業、奨学金返還支援補助金の要件を満たすなど	令和8年1月1日～令和9年3月31日の間に結婚、市内在住、夫婦ともに39歳以下、所定の講座を受講など
金額	最大50万円 (新築15万円、中古5万円 +各種加算)	支給対象児1人当たり 5万円	返還額の半額 (5年間で最大120万円)	返還額の全額または 4分の3 (5年間で最大240万円)	最大60万円 (夫婦どちらかが 30代の場合30万円)
期限	建物の所有権登記日から 6か月以内	出生日の翌日から 30日以内	毎年1月に前年分を申請		令和9年3月31日
申請先	企画課	こども課	企画課		

『茨城ごじゃっぺカルテット』は坂東市在住の漫画家、豚もうさんが描いた作品で、作品の舞台が坂東市となっています。



★本紙に記載した内容は各事業の概要になります。詳細については市ホームページや広報紙などでご確認ください。

発行／坂東市 編集／企画課

〒306-0692 茨城県坂東市岩井4365番地 ☎ 0297 (35) 2121 / 0280 (88) 0111



坂東市ホームページ